

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第99期(決算日2019年3月20日) 第100期(決算日2019年4月22日) 第101期(決算日2019年5月20日)
第102期(決算日2019年6月20日) 第103期(決算日2019年7月22日) 第104期(決算日2019年8月20日)

作成対象期間(2019年2月21日～2019年8月20日)

第104期末(2019年8月20日)	
基準価額	3,380円
純資産総額	619百万円
第99期～第104期	
騰落率	△ 6.9%
分配金(税込み)合計	210円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

お知らせ

当ファンドは、2020年8月20日に信託期間が終了し、償還を迎える予定です。それに伴い、2019年11月21日以降、購入申込受付を停止いたします。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・資源国3通貨コース」は、2019年8月20日に第104期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

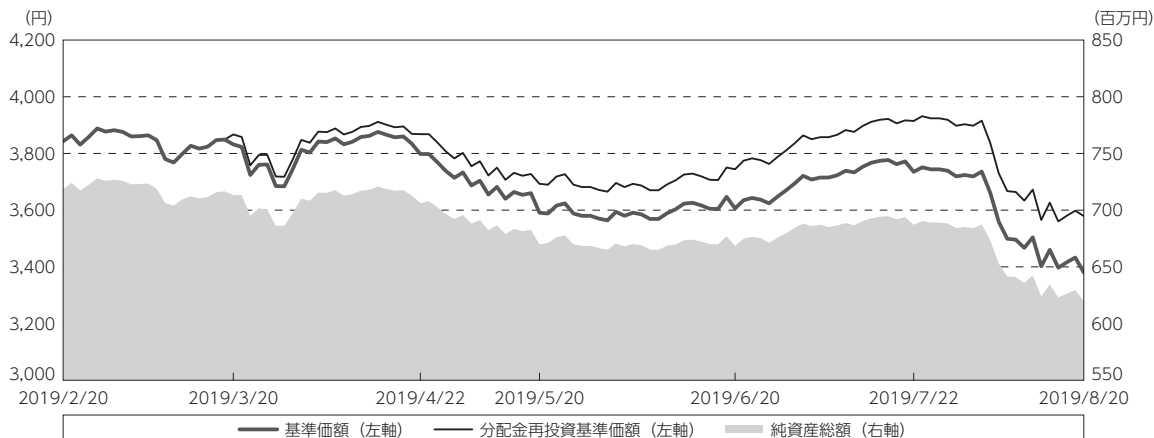
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2019年2月21日～2019年8月20日)



第99期首：3,843円

第104期末：3,380円 (既払分配金(税込み):210円)

騰落率：△ 6.9% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2019年2月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、資源国通貨(ブラジルレアル・南アフリカランド・オーストラリアドル)買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・米国国債の金利が低下(債券価格は上昇)したこと。

<値下がり要因>

- ・新興国ハイ・イールド社債を中心に米国国債とのスプレッド(利回り格差)が拡大したこと。
- ・ブラジルレアル、南アフリカランド、オーストラリアドルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2019年2月21日～2019年8月20日)

項 目	第99期～第104期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	20 円	0.552 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(6)	(0.161)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(14)	(0.375)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.050	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(2)	(0.047)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	22	0.602	
作成期間の平均基準価額は、3,710円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

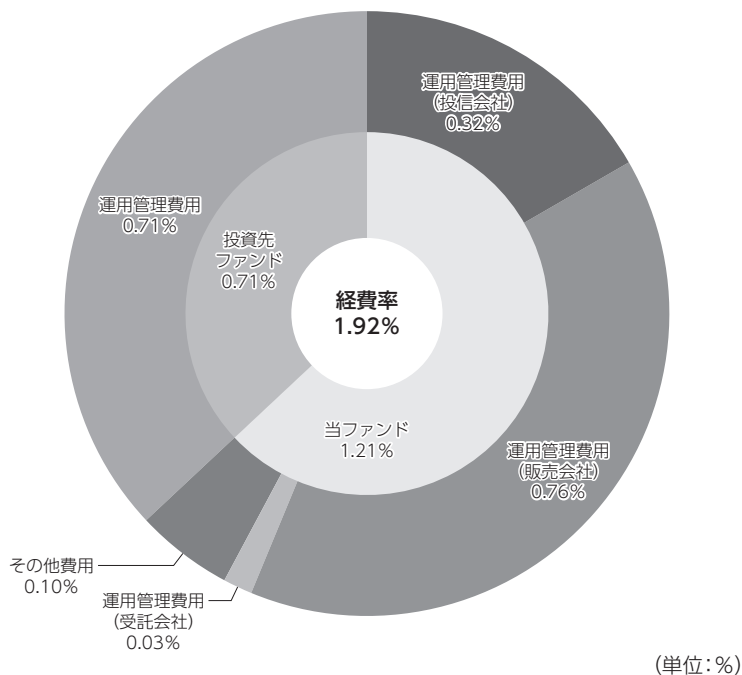
(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○経費率（投資先ファンドの運用管理費用以外の費用を除く。）

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した経費率（年率）は1.92%です。



経費率 (①+②)	1.92
①当ファンドの費用の比率	1.21
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.71

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用以外の費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2014年8月20日～2019年8月20日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
 (注) 分配金再投資基準価額は、2014年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年8月20日 決算日	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日	2018年8月20日 決算日	2019年8月20日 決算日
基準価額 (円)	6,648	5,102	4,101	4,700	3,743	3,380
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,080	700	420	420	420
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	△ 8.0	△ 4.7	25.7	△ 12.6	1.0
純資産総額 (百万円)	5,851	2,459	1,418	1,155	750	619

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
 (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
 (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2019年2月21日～2019年8月20日)

(債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場は上昇しました。

米国では、米国連邦準備制度理事会（F R B）がグローバルな経済減速懸念や米中の貿易摩擦といった外的要因を背景に緩和姿勢に転じて、利下げを実施するなかで、米国国債が買われて金利が低下したことが堅調なリターンの背景となりました。主要先進国金利の低下によって利回りへの需要という投資テーマが活気づき、新興国資産はその恩恵を受けた代表的な資産となりました。しかし、米中の貿易問題やアルゼンチンでの政治的な話題によって、価格変動は大きい状態が続き、新興国社債と米国国債とのスプレッドは拡大しました。米国国債の金利低下によって、ほとんどの国がプラスリターンとなりましたが、個別銘柄レベルでネガティブな話題が見られたジャマイカと、2019年実施される大統領選挙結果への不安が募ったアルゼンチンはマイナスリターンとなりました。

(国内短期金利市況)

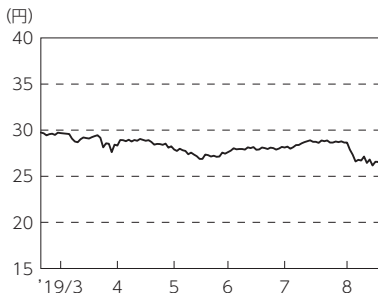
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.06%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.06%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.21%近辺から、日銀による国債買入れの継続などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

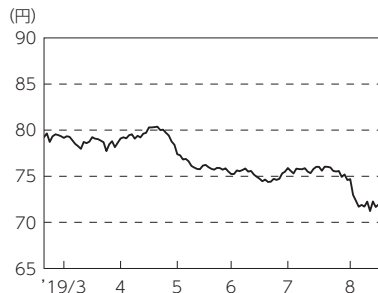
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

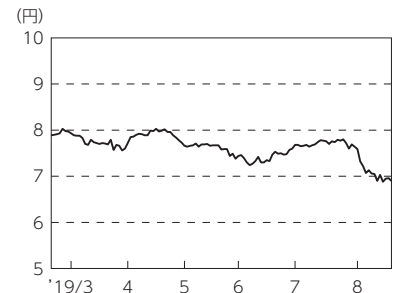
円／ブラジルレアルの推移



円／オーストラリアドルの推移



円／南アフリカランドの推移



当ファンドのポートフォリオ

(2019年2月21日～2019年8月20日)

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「EMサブ I Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(EMサブ I Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス)

当ファンドは、公益セクターへの投資比率を低くする一方で、現金比率を高くしました。国別ではアルゼンチンの投資比率を低くしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2019年2月21日～2019年8月20日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

(2019年2月21日～2019年8月20日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第99期	第100期	第101期	第102期	第103期	第104期
	2019年2月21日～ 2019年3月20日	2019年3月21日～ 2019年4月22日	2019年4月23日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月20日	2019年6月21日～ 2019年7月22日	2019年7月23日～ 2019年8月20日
当期分配金	35	35	35	35	35	35
(対基準価額比率)	0.905%	0.913%	0.965%	0.961%	0.928%	1.025%
当期の収益	25	24	25	26	28	25
当期の収益以外	9	10	9	8	6	9
翌期繰越分配対象額	2,313	2,303	2,293	2,285	2,278	2,268

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブI Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(EMサブI Gハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス)

新興国市場には多くの注目材料が存在し、直近の米中貿易摩擦の過熱はその筆頭に挙げられます。一連の動向は、本格的なグローバル貿易戦争を回避するための米中間の妥結に疑問符を投げかけるものであり、注視する必要があるとみています。その他にもアルゼンチンの大統領選挙の行方を巡って、市場の変動は大きくなることが予想されます。トルコでも政治的な懸念は高まっており、中東地域の地政学的リスクの高まりも無視できません。しかし、全体的にみれば主要中央銀行の継続的な緩和姿勢によって金利上昇リスクは抑制されるため、新興国市場にとってプラスに働くと考えています。ただし、慎重な投資姿勢を維持することが賢明であると考えており、足元では、市場環境が悪化した場合には債券価格の下落に拍車がかかりやすいとの警戒感から、リスクを抑えた運用が適切であるとみています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

2019年2月21日から2019年8月20日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当社ホームページにおいて、より高い安全性を確保するためのセキュリティ対策としてHTTPS化を実施することに伴ない、当ファンドの信託約款における当社ホームページURLの表示を「www.nikkoam.com/」へ変更するべく、2019年5月21日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第48条、第48条の2)

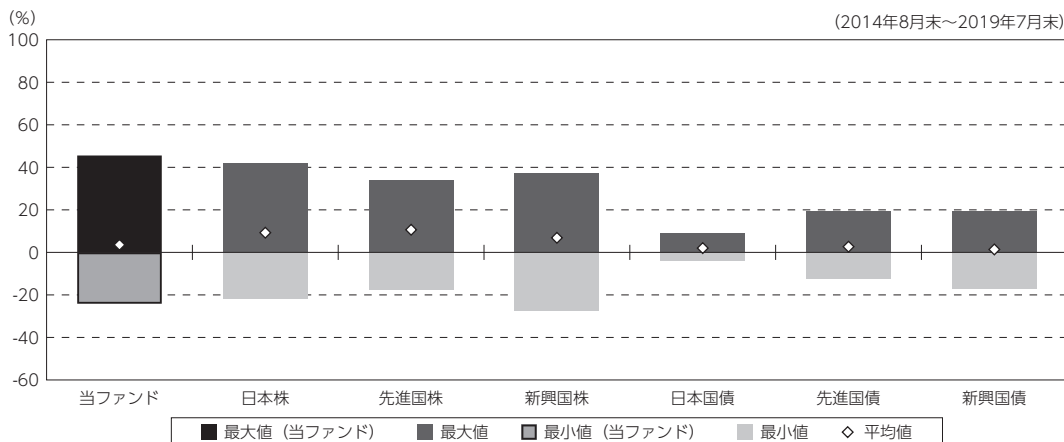
当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2019年5月21日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券(投資信託または外国投資信託の受益証券(振替投資信託受益権を含みます。))および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。)の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト J P Y ・ F Xバスケットクラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、資源国通貨(ブラジルレアル・南アフリカランド・オーストラリアドル) 買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	45.6	41.9	34.1	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 24.2	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	3.6	9.3	10.6	6.9	2.0	2.7	1.4

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年8月から2019年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2019年8月20日現在)

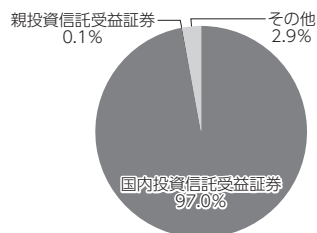
○組入上位ファンド

銘柄名	第104期末
	%
EMサブIG/ハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス	97.0
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

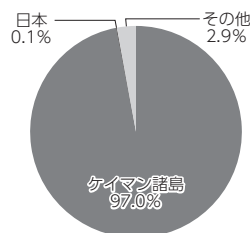
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

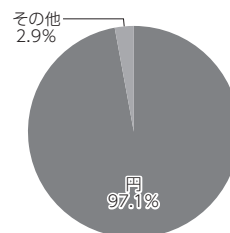
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

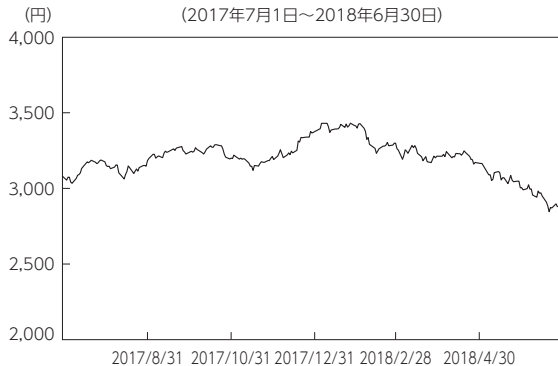
項目	第99期末	第100期末	第101期末	第102期末	第103期末	第104期末
	2019年3月20日	2019年4月22日	2019年5月20日	2019年6月20日	2019年7月22日	2019年8月20日
純資産総額	713,284,167円	706,198,958円	669,825,241円	668,463,119円	687,085,113円	619,917,434円
受益権総口数	1,861,534,042口	1,859,164,503口	1,865,097,563口	1,853,769,166口	1,839,398,532口	1,833,886,974口
1万口当たり基準価額	3,832円	3,798円	3,591円	3,606円	3,735円	3,380円

(注) 当作成期間(第99期~第104期)中における追加設定元本額は32,708,620円、同解約元本額は68,737,696円です。

組入上位ファンドの概要

EMサブ I Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・FXバスケットクラス

【基準価額の推移】



(注) グラフは分配金再投資基準価額です。

【1万口当たりの費用明細】

(2017年7月1日～2018年6月30日)

当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載しておりません。

【組入上位10銘柄】

(2018年6月30日現在)

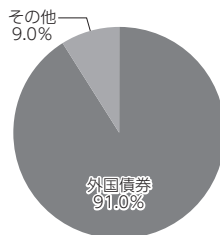
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
1	United States Treasury Note 1.25%	外国債券	アメリカドル	米国	6.7%
2	Agua y Saneamientos Argentinos SA 6.63%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	2.4%
3	VTR Finance BV 6.88%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.4%
4	Dianjian Haixing Ltd, VRB 4.05%	外国債券	アメリカドル	英領バージン諸島	2.2%
5	Citgo Holding Inc 10.75%	外国債券	アメリカドル	米国	2.2%
6	MCC Holding Hong Kong Corp Ltd, VRB 4.95%	外国債券	アメリカドル	香港	2.1%
7	United Bank for Africa Plc 7.75%	外国債券	アメリカドル	ナイジェリア	2.1%
8	Altice Financing SA 7.50%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	2.1%
9	Liquid Telecommunications Financing Plc 8.50%	外国債券	アメリカドル	英国	2.1%
10	Stoneway Capital Corp 10.00%	外国債券	アメリカドル	カナダ	2.1%
組入銘柄数			86銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

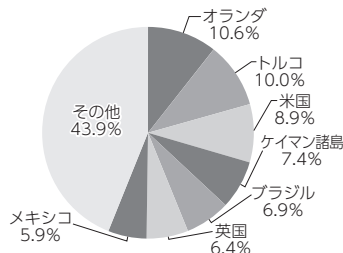
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

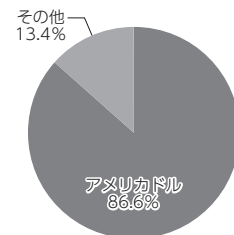
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



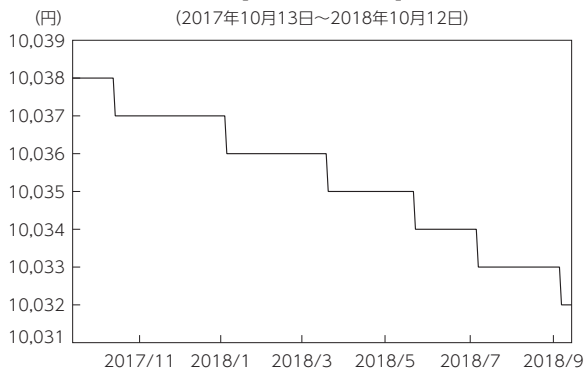
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2017年10月13日～2018年10月12日)



【1万口当たりの費用明細】

(2017年10月13日～2018年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	円 1 (1)	% 0.006 (0.006)
合 計	1	0.006

期中の平均基準価額は、10,035円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2018年10月12日現在)

2018年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。